

6月定例会での議決結果をお知らせします

平成21年第2回燕市議会定例会を6月15日から26日まで開催し、人事案件や条例の一部改正、平成21年度補正予算などの議案について審議を行いました。市長提出議案

中14件と、議員提出議案6件、請願2件は各常任委員会に付託され、それぞれ審査した後、本会議で議決しました。各議案の審議結果と採決の状況は下表のとおりです。

市長提出議案 (17件)

件名	審議の結果	採決の状況
人権擁護委員候補者の推薦について (2件)	同意	全会一致
燕市教育委員会委員の任命について	同意	全会一致
西蒲原福祉事務組合規約の変更について	可決	全会一致
燕市附属機関設置条例の一部改正について	可決	全会一致
燕市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	全会一致
燕市子どもの医療費助成に関する条例の一部改正について	可決	全会一致
燕市文化会館条例の一部改正について	可決	全会一致
字の変更について	可決	全会一致
財産の取得について	可決	賛成多数
市道路線の認定及び廃止について	可決	全会一致
平成21年度燕市一般会計補正予算 (第2号)	可決	賛成多数
平成21年度燕市住宅団地造成事業特別会計補正予算 (第1号)	可決	全会一致
契約の締結について (スポーツランド燕屋内練習場等建設工事(建築工事))	可決	全会一致
県央広域市町村圏協議会の廃止について	可決	全会一致
平成21年度燕市一般会計補正予算 (第3号)	可決	賛成多数
平成21年度燕市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	可決	全会一致

議員提出議案 (6件)

件名	審議の結果	採決の状況
30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度を堅持し、国の負担割合を3分の1以上に引き上げることをはじめとする教育予算の充実を求める意見書	可決	全会一致
燕市議会会議規則の一部改正	可決	全会一致
燕市農業委員会委員の推薦について (4件)	推薦	全会一致

請願の審査結果

6月定例会に提出された請願は2件でした。産業建設常任委員会、文教常任委員会にそれぞれ付託審査し、最終日の本会議で採決されました。

採択(全会一致)

● 30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願書

新潟市西蒲区巻甲 4162番地の3
新潟県教職員組合西蒲・燕支部
支部長 前山和彦
燕市班班長 下村雅彦

不採択(賛成少数)

● 吉田95号線事業の中止を求める請願書

燕市桜町 68-7
つばめ市情報公開
ネットワーク代表 黒田 玲

意見書の提出

採択された請願は、「意見書」として内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣に提出しました。



不況の中での新庁舎建設について

中山 眞一 議員

問① 地場産業の景気動向はどのように認識か。

答① 景気の底打ち感はなく、未だに出口の見えない不安の中で景気の早期回復に期待を寄せ、そのときに備えているのが現状と認識。

問② 不況のさなかという中で新庁舎建設凍結の声があり、署名活動など市民運動が起こっている。説明不足が一つの要因と思うが、市民の理解不足が原因なのか、庁舎建設自体が間違っているのか、それとも一部の市民が反対していると思われのか市長の見解は。

答② 三択であえて選べといわれれば、一部凍結を求める市民の声もあるが、大部分は立派なもの造れという声が多いということ認識している。

問③ 建設計画の中に、60台分1億5千万円の車庫を造ることを想定しているが、金額と必要性に疑問を感じる。なぜ60台もの車を立派な車庫に入れないのか。

答③ 現在公用車は約100台、新庁舎建設により70台に削減したいと考えている。車庫の建設費は設計者と協議し、簡素化を図り極力抑制していきたいが、維持管理面から車庫の設置は必要と考えている。

問④ 市民の憩いの場としての庁舎とあるが、庁舎はあくまでも順調な市民生活を営んでもらうために職員が働く場所であり、仕事場らしくスリム

る。今後もあらゆる機会を通じて、市民に説明し理解を求めている。

問③ 建設計画の中に、60台分1億5千万円の車庫を造ることを想定しているが、金額と必要性に疑問を感じる。なぜ60台もの車を立派な車庫に入れないのか。

答③ 現在公用車は約100台、新庁舎建設により70台に削減したいと考えている。車庫の建設費は設計者と協議し、簡素化を図り極力抑制していきたいが、維持管理面から車庫の設置は必要と考えている。

問④ 市民の憩いの場としての庁舎とあるが、庁舎はあくまでも順調な市民生活を営んでもらうために職員が働く場所であり、仕事場らしくスリム

で簡素、機能的であるべきと思うが、憩いの場としての庁舎とはどのようなものか。

答④ 基本的にはスリムな庁舎を目指していることから、ラウンジのようなものを想定している。ここでも市民活動や、地域からの情報、市政に関する情報を共有して、市民交流、市民との協働のまちづくりにつなげていきたい。また、屋外に広場を設け、市民の憩いの場とする中でイベント開催や災害対応のスペースとして活用することも想定している。

具体的形態は、設計業務を通してワークショップ等で市民の意見を聞き、随時、議会と協議していきたい。

具体的形態は、設計業務を通してワークショップ等で市民の意見を聞き、随時、議会と協議していきたい。



大岩 勉 議員

白根ガス料金の値上げは、絶対に認めるべきではない

問① 白根ガス(株)は、燕市に対して「ガス料金の改定」を一方的に通知してきました。燕市との事業譲渡の際、覚書でガス料金の値上げをしない期間を13年と明記されたのは白根ガスであり、主客転倒な申し入れではないか。北陸ガス、東北電力は7月に料金を引き下げると発表している。白根ガスの料金値上げは、絶対に認めるべきではない。

答① 来年1月から料金の改定を行う予定との一方的な通告であり、当然容認できません。同社、および石油資源開発に対して撤回に向けて最大限の努力をします。関東経済産業局へも指導を行うよう要請を行った。

問② 新市建設計画は、合併後のまちづくりの将来像を示すプランであり、当初計画より約23%減額もし、先送り中止事業も行っていること、そして新庁舎建設の一時凍結を求める運動を一部の市民が行っているが、「新庁舎建設基本計画」「新庁舎建設設計者の選択方針」に対して一人の反対もなく、全議員の賛同を取り付けていることを明確にするべきでないか。

答② 合併協議の中で策定したのですが、景気の低迷、厳しい財政事情から事業規模縮小、極力先送り調整をし23%、約108億円余り事業費の調整削減をした。新庁舎建設等検討特別委員会を設置していただき、協議され反対もなく承認、ご賛同をいただいたと確

認している。

問③ 友愛の育む学校教育は行っているのか。体育の授業時間は少なくないか。児童、生徒や父母からドメスティックバイオレンス(DV)による被害相談や、保護が全国では増加していると聞か、教育委員会が把握していることを伺う。

答③ 生きる力がみなぎる燕の子どもを目指し、確かな学力、豊かな心、健康な体を掲げ育成している。体育授業時は小学1年生で年間12時間、2年生で15時間増加し、体育授業充実に努めている。今年度に入り、ネグレクトや夫婦間のDVで児童に影響を及ぼした事例があり、関係機関で対応した。

合併後のまちづくりの将来像を示すプランであり、当初計画より約23%減額もし、先送り中止事業も行っていること、そして新庁舎建設の一時凍結を求める運動を一部の市民が行っているが、「新庁舎建設基本計画」「新庁舎建設設計者の選択方針」に対して一人の反対もなく、全議員の賛同を取り付けていることを明確にするべきでないか。